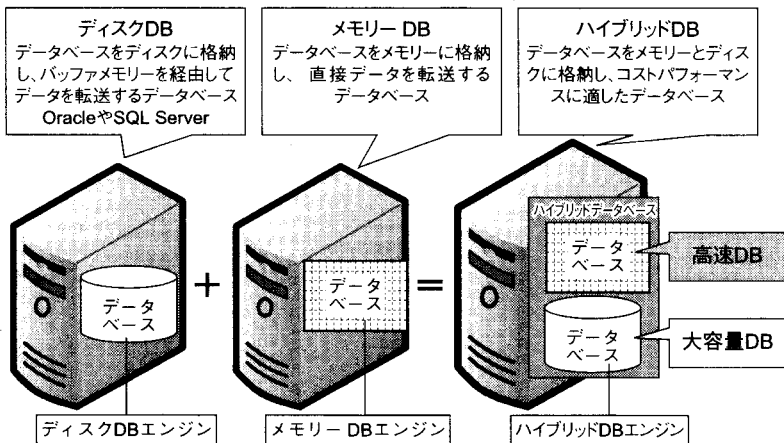


アルティベース (ALTIBASE) とは？



(出所：シアンズ・アール)

ハイブリッド DBソフト 「アルティベース」に注目

合いも出てきていた。この状況を受け、今後、さら

はIBMやオラクルから発売されているが、「一つのDBでハイブリッド化している製品はない」(平岡社長)という。

メモリーデータベースに国内での認知度を高める(DB)とディスクDBを統合し、低価格で超高速処理ができるハイブリッドDBソフト「ALTIBASE」(アルティベース)が注目されている。既に世界

利用頻度や内容などに応じて、柔軟にメモリーやディスクへ保存場所を切り替え、データの移動なども複雑な処理をせずにできる。利用者は、データの場所を意識せずに閲覧可能だ。データの更新と参照を同時にできるため、リアルタイム化も実現している。

初期費用ゼロ円キャンペーン

高速・大容量 「まずは実感を」

新技術の習得不要

で1方サーバー、日本でも400サーバー以上が使われており、各方面から引き寄せられる。既に世界

め、3カ月は、ライセンス料が大幅に向上し、CPU(中央演算処理装置)の利用率を、従来DBに比べて5分の1以下に下げることができ、高速化するために、サーバーを増やす必要もなくなる。平岡社長は「一般的なDBは買い切り型だが、今回は月額課金にしたので、データセンターなどと連携し、メモリ型データベースは10倍高速になる」と話している。投資コストが半分以下になる(アルティベース社試算)。

シアンズ・アールによる、二重化したDBシステムを構築した場合、ライセンスと5年のサービス費用で他社のディスクDBシステムとの4分の1まで抑えられるとしている。

現在、この技術を日本ですべてに浸透させるために、ゼロ円スタートキャンペーンを展開中だ。最初の3カ月間はライセンス、サポートともに無料で、4カ月目以降は、物理メモリーが14GB以下で月9万8千円(サポート含む)で利用できる。パートナー社と展開しており、平岡社長は「まずは使ってもらい、アルティベースの高性能を実感してもらいたい」と話している。キャンペーンは、9月30日まで行う。



平岡 社長